

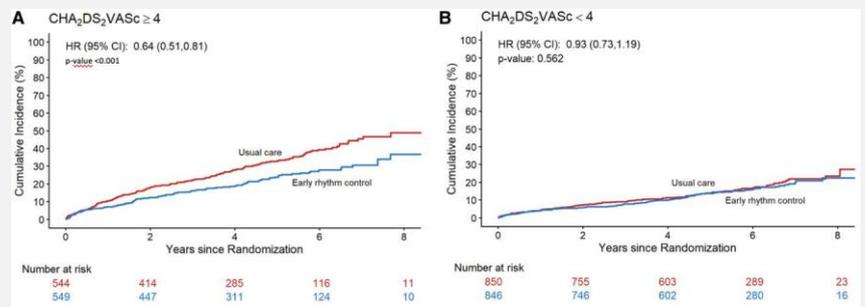


## Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話~

## 発症早期の心房細動患者への早期リズム管理は高リスク者で有用

Early Rhythm Control in Patients With Atrial Fibrillation and High Comorbidity Burden.  
Andreas Rillig et al. Circulation. 2022;0:10.1161/CIRCULATIONAHA.122.060274

心房細動の管理において血栓のリスク評価として、CHA<sub>2</sub>DS<sub>2</sub>-VASc scoreは有用です。しかし、無症状の方も多い心房細動の管理において、抗不整脈薬やカテーテル治療といったリズム管理（洞調律を維持する事）は、やや敷居が高く感じる場合もあると思います。



本研究では、1年以内発症の心房細動患者を、早期にリズム管理治療（薬剤もしくはカテーテル治療）を行った群と、積極的には行わなかった群とにランダム割付したものです。結果、CHA<sub>2</sub>DS<sub>2</sub>-VASc score  $\geq 4$ の高リスク群・1093人（74.8 $\pm$ 6.8歳、女性61%）において、主要評価項目（心血管死、脳卒中、心不全悪化による入院、急性冠症候群）が有意に減少しました（HR, 0.64 [0.51-0.81; ] P < 0.001）。一方で、CHA<sub>2</sub>DS<sub>2</sub>-VASc score < 4の低リスク群1696人（67.4 $\pm$ 8.0歳、女性37%）では、有意差は認めませんでした。やはり、CHA<sub>2</sub>DS<sub>2</sub>-VASc scoreが高い患者ほど、洞調律維持治療のメリットが大きいと思われるので、治療に難渋した際には、是非当院にご紹介いただければと思います。

頭文字	危険因子		点数
C	Congestive heart failure/ Left ventricular dysfunction	心不全 / 左心室機能不全	1
H	Hypertension	高血圧	1
A <sub>2</sub>	Age $\geq$ 75 y	年齢 (75歳以上)	2
D	Diabetes mellitus	糖尿病	1
S <sub>2</sub>	Stroke/TIA/TE	脳卒中/TIA/血栓塞栓症の既往	2
V	Vascular disease (prior myocardial infarction, peripheral artery disease, or aortic plaque)	血管疾患 (心筋梗塞の既往, 末梢動脈疾患, 大動脈プラーク)	1
A	Age 65-74 y	年齢 (65~74歳)	1
Sc	Sex category (i.e. female gender)	性別 (女性)	1

日本循環器学会/日本不整脈心電学会合同ガイドライン：[2020年改訂版 不整脈薬物治療ガイドライン](#)

文責 油井 慶晃

## スタッフ紹介 Vol.2



油井 慶晃

医師

循環器内科 科長

2005年 日本医大卒

県立福島高校出身の油井です。今年の高校野球は、仙台育英が東北勢として悲願の初優勝をしてくれました。東北の、桃、梨、米、日本酒と美味しいものを食べながら、自分のぱっとしない、懐かしい高校時代を思い出しました。

